

# 週間漁海況情報—第44号

平成26年11月10日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週月曜日夜間に更新します。

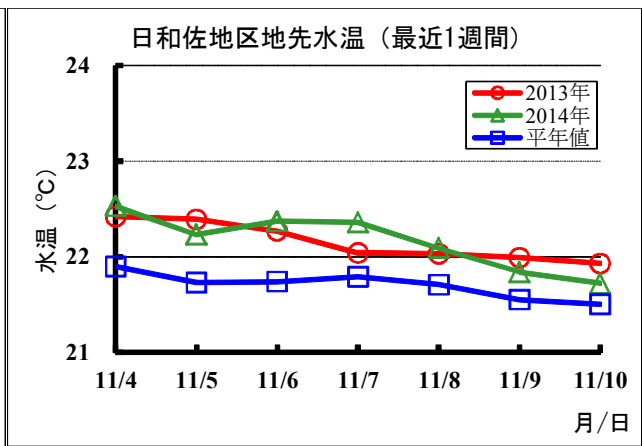
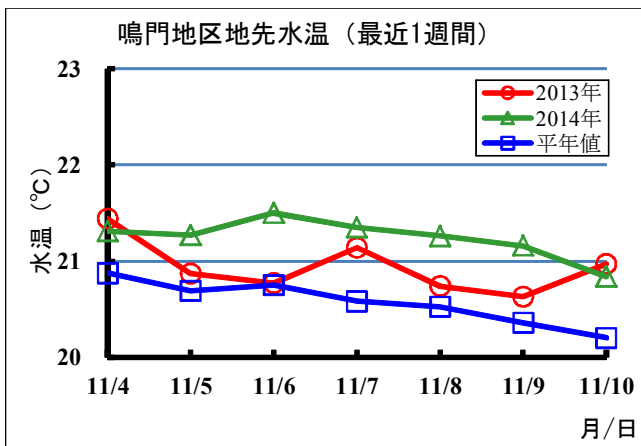
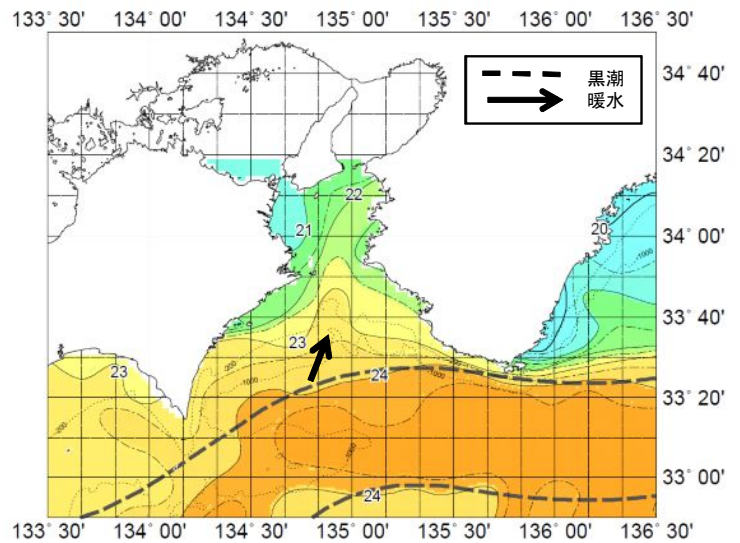
徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課

## 1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H26.11.10）を示した。

黒潮は、室戸岬沖で、やや離岸、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は24℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で20℃台、紀伊水道では20～22℃台、海部沿岸は21～23℃台である。紀伊水道外域では室戸岬と潮岬を結ぶ中央付近から暖水流入がある。



**地先水温:** 最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の20.8～21.5℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の21.7～22.5℃、牟岐地区は「平年並み」～「やや高め」の21.4～22.6℃で推移した。

### 水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

\* 平年値 鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

## 2. 漁況の経過

**延縄**：海部郡沿岸で大主体にサワラが0.4トン（1日1隻あたり28kg）、大主体にキダイが0.3トン（同22kg）水揚げされた。

**大型定置網**：海部沿岸で中・小主体にマアジが0.9トン（同152kg）、小主体にマルアジが0.3トン（同47kg）、メアジが1.1トン（同182kg）、小主体にマサバが0.4トン（同60kg）、中・小小主体にサワラが0.8トン（同125kg）、小主体にタチウオが0.3トン（同50kg）水揚げされた。

**釣り**：海部沿岸でメジロが9.9トン（同55kg）、紀伊水道で中主体にサワラが0.3トン（同20kg）水揚げされた。

**パッチ網**：紀伊水道でシラスが4.7トン（同75kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2014年11月3日～2014年11月9日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	サワラ	14	394	28	大主体
		キダイ	15	326	22	大主体
大型定置網	海部沿岸	マアジ	6	909	152	中・小主体
		マルアジ	6	284	47	小主体
		メアジ	6	1,092	182	
		マサバ	6	360	60	小主体
		サワラ	6	752	125	中・小小主体
		タチウオ	6	300	50	小主体
		メジロ	180	9,875	55	
釣り	紀伊水道	サワラ	13	254	20	中主体
パッチ網		シラス	62	4,650	75	

**昨年同時期の主な漁獲傾向**：昨年の11月4日～11月10日には、海部沿岸では、延縄で、大主体にキダイが1.2トン、カワハギが0.5トン、大主体にサバフグが0.3トン、建網でカワハギが0.3トン、小型定置網で、小主体にマアジが0.4トン、小主体にマルアジが3.6トン、カタクチイワシが5.6トン、大主体にヒラソウダが0.8トン、アオリイカが0.5トン、大型定置網で、小小主体にマアジが0.2トン、小小主体にマルアジが0.3トン、小主体にゴマサバが0.8トン、カンパチが1.3トン、中主体にヒラソウダが0.2トン、小主体にシイラが0.3トン、釣りで、特大・大主体にタチウオが1.0トン、中主体にアオリイカが0.4トン、紀伊水道で、釣りで、中主体にサワラが0.4トン、パッチ網で、シラスが21.7トン水揚げされた。

**週間予報**：黒潮は、室戸岬沖において「やや離岸」、潮岬沖において「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並」～「やや高め」の19～20℃台、日和佐地先で「平年並」～「やや高め」の20～21℃台で推移する見込み。